

足尾山塊 庚申山 笹ミキ沢～丸石沢下降

大平

【日時】2012年6月17日(日)

【メンバー】L飯田、大平

先日の春の山菜山行以来、日帰りでもいいので沢に行きたくなった。そこに飯田さんからの誘いメールがあったので、ご一緒させて頂くことにした。静岡からは遠かったが、梅雨時にもかかわらず天気も回復して、充実した遡行ができた。

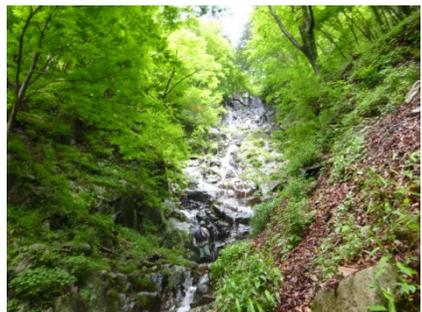
庚申山登山口に車を止めて、そこから林道沿いを進んでいく。天気予報のとおり、雨も上がっており、これから晴れるとのことだ。笹ミキ橋に到着後、左岸から堰堤を越えて入渓する。曇り空で、鬱蒼とした樹林の中なので、沢自体は暗いイメージだ。崩壊地があり、荒れた沢かという印象をもったが、ほどよい小滝があっけましてくれる。その内、3m小滝を右岸から小さく巻いた。ここで先行するパーティに追いつくが、なんとこの前までトマに在籍されていたIさんにお会いする。まさか山中でお会いするとは、狭い世界だなどと思いつつ、挨拶をすませて先へ進む。

この後、見事な大滝(2段25m)が堂々とした姿で我々の前に現れた。飯田さんが取り付いてみるが、上部が急で悪いため、左から高巻くことにした。巻き道は、踏み跡もしっかりしており、慎重に進めば問題はない。その後沢床に下りると、小滝が続き、ゴルジュ状になるが、特に難場もなく、続いて美しい大滝(15m)が現れる。直登は難しいので左から高巻いた。続いて6mナメ滝は水流を避けて右側を登って越える。この後はしばらくゴーロ状となり、何ヶ所か小滝があり、どれも直登できる。

しばらくして、大きな支沢(3:2)があり、支沢側に堂々とした大滝(2段40m)が待ち構える。これは本流を少し進んだところで右岸から高巻く。その後は、水量も減って、変化に乏しくなるが、最後に20mほどの階段状の滝は、水を浴びながら直登できて楽しい。



堂々とした大滝 2段 25m



快適に登れる階段状 20m 滝

ちょうど滝を越えたところで、一気に源流の様相となる。その頃になるとちょうど晴れだして、新緑が眩しくてきれいである。1550m付近まで来たところで、塔の峰（1738m）を経ずにトラバースして丸石沢の下降点まで進むことにする。トラバースについては、笹も膝下くらいでうるさくなく、快適に進むことができる。ここで飯田さんの発案で、塔の峰から南に延びる尾根上の一等三角点



トラバース中

（1456m）を踏んでいくこととする。尾根上は、赤テープも巻いてある箇所もあり、踏み跡もあることから塔の峰の登降路として使われているのかもしれない。三角点もすぐに見つかり、丸石沢左俣から下降する。最初は急であったが、特にロープを出すような場面もなく、本流に合流する。丸石沢はゴーロと小滝が中心で、歩きやすいところを下っていく。最後、林道手前で1ヶ所ロープを出して、10mほどの滝を左岸から懸垂下降して下った。程よく疲れた頃には、丸石橋に到着。少し林道を歩いて、無事に帰路に就いた。

【グレード】 1級上

【地形図】 足尾・中禅寺湖

【行程】 庚申山登山口（8:40）～笹ミキ沢1550m付近（12:00）～1456m（12:40）～丸石沢登山口（15:00）

<足尾・庚申川 笹ミキ沢～丸石沢下降 概念図>

作図:大平

